

1人1台タブレット端末を活用した対話の個別練習と グループでの協働的な学びにより表現力を育成する学習

第5学年

Unit6

What would you like?

こんな子どもたちの姿が生まれました!

- タブレット端末で自分の発話を動画撮影して確認することで、主体的に個別練習することができました。
- グループで互いに対話の様子を撮影し、アドバイスし合う協働的な学びにより、表現力が向上しました。

指導者用デジタル教科書の活用による効果



電子黒板の画面を見ながら、繰り返し練習することで、
必要な語彙と表現の定着を図る。

- ・毎時間、デジタル教科書を用いて Let's Sing と Let's Chant を復習としてルーティーンで行い、児童が画面を見ながら繰り返し歌ったり、唱えたりして、単元の終末の対話で用いる語彙や表現を覚えることができるようにする。

教師の指導のポイント

- ・電子黒板に学習しているページを常に提示して、適宜指し示したり、写真や動画などを使ったりして、児童が視覚的に理解しやすいように配慮する。

1人1台タブレット端末の活用による効果



自分の発話を動画撮影し、振り返ることで、
個別練習を充実させ、表現の定着を図る。

- ・基本表現のモデル（デジタル教科書の音声）を聞いた上で、1人1台端末を使って、自分の声をタブレットに録画して聞き直すことで、客観的に自身の発話の見直しができるようにする。



互いの対話を撮影し助言し合うなど、グループでの
学び合いを充実させることで、表現内容・方法の改善を図る。

- ・対話の場面では、各グループで1台のタブレット端末を使い、ペアごとに対話を動画撮影して、対話を確認し学び合えるようにする。
- ・確認した点を改善するために、再度取り組むようにする。
- ・全体交流の場を位置付け、撮影した動画を電子黒板で提示し、児童のよさ（表現内容・方法）を価値付ける。

教師の指導のポイント

- グループでの学び合いでは、互いの対話を評価するための観点を示しておくことで、課題の達成に向けて観点に沿って助言し合うことができるようにする。
- 全体交流では、本時の課題を達成している児童の対話の動画を意図的に提示し、児童が自分で仲間のよさに気付くことができるようにする。